

「第76回国民体育大会開催基本構想（中間案）」にかかるパブリックコメントの結果概要について

- 1 意見募集期間 平成27年10月21日(水)から平成27年11月19日(木)まで
- 2 意見総数 24件
- 3 主な意見 下記一覧表のとおり

No.	ページ・項目等	意見の概要	意見に対する県の考え方	対応
1	全般	国体が終わったあとも、地域の盛り上がりを持続できるような大会にしてほしい。	国体を一過性のものとしないうために、その趣旨を第4章に盛り込んでいます。	今後の取組の参考とする
2	全般	オリンピック種目も国体の競技に加わると聞いています。一定の記述をしてはどうでしょうか。	ご意見の趣旨を第1章-1に追記します。(P2)	反映する
3	全般	昭和50年の「みえ国体」のとき、中学生でした。当時は、三重県中が国体ムード一色になり、大いに盛り上がったと記憶しています。「三重とこわか国体」でも、子どもたちがスポーツの素晴らしさに触れられるような、そんな大会にしてください。	子どもたちが国体の競技を間近に触れ、スポーツの魅力を感じ、その後もスポーツに親しめるような取組を第4章に盛り込んでいます。	今後の取組の参考とする
4	全般	2021年はオリンピックの翌年に当たります。オリンピックの感動や興奮の火を消すことなく三重国体へ継承するような大会にしてほしい。	東京オリンピックの開催などを契機とした機運の盛り上がり国体につなげていく取組を第1章-4に盛り込んでいます。(P3)	反映する
5	全般	国体の「愛称」や「スローガン」を記載してはどうか。	愛称・スローガンや国体における実施予定競技を追記します。(表紙裏、P2)	反映する
6	全般	平成28年に開催される伊勢志摩サミットや平成29年の全国菓子大博覧会、平成30年のインターハイなどの開催成果を国体に生かしてはどうか。	来年5月の伊勢志摩サミットをはじめ、県内において大規模イベントが続くため、培った運営ノウハウを活かして国体が集大成となるような取組を進めていく趣旨を第3章-2-(3)に盛り込んでいます。	今後の取組の参考とする
7	第3章-1 県民力を結集する国体	スポーツにあまり興味がない人も含め、なるべく多くの方が国体に関わりを持ち、県民総参加で盛り上げる仕組みを考えてほしい。	ご意見の趣旨を第3章-1-(1)(2)に追記します。(P5)	反映する
8	第3章-1-(2) ボランティア等人材の育成	ボランティアが参画しやすいスキームを作ることが重要ではないか。	ご意見の趣旨を第3章-1-(2)に追記します。(P5)	反映する
9	第3章-1-(2) ボランティア等人材の育成	国体後に行われる様々なイベントで国体を経験したボランティアの方がたくさん活躍するよう、取り組んでほしい。	ご意見の趣旨を第3章-1-(2)に追記します。(P5)	反映する

No.	ページ・項目等	意見の概要	意見に対する県の考え方	対応
10	第3章-2-(1) 既存施設の有効活用	国体開催に向けて県内のスポーツ施設の充実をもっと図るべきである。	財政負担も伴うことから、現行の制度を一定付記しながらも、可能な範囲で改修していくという表現としています。	今後の取組の参考とする
11	第3章-2-(4) 安全安心な大会運営	フランスで起こったテロなど、国際テロの脅威が高まっているが、大規模イベントである国体でのテロ対策についても記述が必要ではないか。	テロ対策も含めた趣旨を第3章-2-(4)に盛り込んでいます。	今後の取組の参考とする
12	第4章-(5) スポーツを通じた地域の活性化	スポーツを通じた地域の活性化に向けては、市町の取り組みもありますし、県と市町が互いに連携しながら、進めていただきたいです。	ご意見の趣旨を第4章-(5)に追記します。(P9)	反映する
13	第4章-(5) スポーツを通じた地域の活性化	国体開催で三重県にどのようなメリットがあるのか。多額の費用がかかるのであれば、地域にも何か還元されるようにしてほしい。	地域の活性化について第4章-(5)に盛り込んでいます。	今後の取組の参考とする

【その他意見】

- 国体全般に関するもの(3 件)
- 大会運営に関するもの(3 件)
- 東京オリンピックに関するもの(1 件)
- 競技力の向上に関するもの(2 件)
- 地域の活性化に関するもの(2 件)